

チーム化のための ケアカンファレンスの技法と実践

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止 著作権が保護されています

特定非営利活動法人やじろべー Lunichi Nakazawa

1. ケアカンファレンスとは

ケアカンファレンスとは、利用者本人や家族、医療・介護・福祉の専門職が集まり、利用者の生活課題や目標を共有し、支援方針を話し合う場です。

単なる「情報交換の場」ではなく、次のことを目的としています。

- ✓ 共通の目標を設定する
- ✓ 役割分担を明確にする
- ✓ 多職種の専門性を活かす
- ✓ 利用者中心の支援を実現する

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろべー Lunichi Nakazawa

2. チーム化のために必要な視点

① 共通目標を持つ

「転倒を防ぐ」「在宅生活を継続する」ではなく

- ✓ 本人が毎日散歩できる
- ✓ 家族と安心して暮らせる
- ✓ 趣味を続けられる

など、本人の望む生活を目標に設定することが重要です。

ポイント

「何を支援するか」ではなく「どんな暮らしを実現したいか」を共有する。

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

2. チーム化のために必要な視点

② 情報共有から意味共有へ

事実だけを報告して終わるのではなく、以下のまで話し合うことで、チームとしての理解が深まります。

- ✓ なぜそうなったのか
- ✓ 本人はどう感じているのか
- ✓ 今後どう考えるのか

例

×「食事量が半分です」

○「食事量が減っている背景には義歯の不具合の可能性がある」

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

2. チーム化のために必要な視点

③ 専門職同士の相互理解

それぞれの専門性を尊重することが重要です。

職種	主な視点
医師	医学的管理
看護師	健康状態・医療的ケア
ケアマネジャー	ケア全体の調整
介護職	日常生活の様子
リハビリ職	身体機能・活動
社会福祉士	社会資源・権利擁護

多様な視点が集まることで、より包括的な支援につながります。

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

3. 効果的なケアカンファレンスの技法

(1) アジェンダを明確にする

単なる予定表にとどまらず、会議の「目的」や「目標とするゴール」を達成するための進行ガイドラインとしての機能をアジェンダと言います。

事前に、以下の内容を共有しておくことで、会議が効率的になります。

- ✓ 目的
- ✓ 話し合う内容
- ✓ ゴール

例

- 現状確認
- 課題整理
- 目標設定
- 支援方法の決定
- 役割分担

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

3. 効果的なケアカンファレンスの技法

(2) ファシリテーションを活用する

司会者は意見をまとめるだけでなく、以下の役割を担います。

- ✓ 発言機会を均等にする
- ✓ 論点を整理する
- ✓ 対立を調整する
- ✓ 合意形成を促す

3. 効果的なケアカンファレンスの技法

(3) 本人・家族の声を中心にする

専門職だけで結論を出すのではなく、次の内容を常に確認します。

- ✓ 「本人は何を望んでいるか」
- ✓ 「家族は何を不安に感じているか」

利用者主体の支援がチームの方向性を一致させます。

3. 効果的なケアカンファレンスの技法

(4) ホワイトボードや図式化を活用する

情報を見える化すると、次のことが整理され、共通理解が進みます。

- ✓ 問題点
- ✓ 強み
- ✓ 支援内容
- ✓ 担当者

3. 効果的なケアカンファレンスの技法

(5) 役割分担を明確にする

会議終了時には次のように具体化する

例

誰が	何を	いつまでに
ケアマネ	サービス調整	今週中
看護師	血圧管理	毎日
リハビリ	歩行訓練	週2回
家族	服薬確認	朝夕

4. チーム化を阻害する要因

(5) 役割分担を明確にする

会議終了時には次のように具体化する

- ✓情報共有不足
- ✓職種間の上下関係
- ✓発言しにくい雰囲気
- ✓目的が曖昧
- ✓本人不在の議論
- ✓責任の所在が不明確

これらはチーム機能を低下させるため、意識的な改善が必要です。

5. 実践例

事例：在宅復帰を目指す認知症高齢者

課題

- ✓ 家族の介護負担が大きい
- ✓ 転倒リスクが高い
- ✓ 服薬管理が困難



カンファレンスでの共有内容

- ✓ 医師：薬剤調整を検討
- ✓ 看護師：健康状態の観察強化
- ✓ PT：歩行訓練と環境整備
- ✓ ケアマネ：サービス調整
- ✓ 家族：見守り体制の確認

共通目標

「本人が安心して自宅で生活を継続できること」

役割を明確にしたことで、各職種が同じ方向性で支援を進められました。

5. 実践例

事例：在宅復帰を目指す認知症高齢者

課題

- ✓ 家族の介護負担が大きい
- ✓ 転倒リスクが高い
- ✓ 服薬管理が困難



カンファレンスでの共有内容

- ✓ 医師：薬剤調整を検討
- ✓ 看護師：健康状態の観察強化
- ✓ PT：歩行訓練と環境整備
- ✓ ケアマネ：サービス調整
- ✓ 家族：見守り体制の確認

共通目標

「本人が安心して自宅で生活を継続できること」

役割を明確にしたことで、各職種が同じ方向性で支援を進められました。

6. ケアカンファレンス成功のポイント

1. 利用者中心の目標を設定する
2. 情報だけでなく意味を共有する
3. 多職種の専門性を尊重する
4. ファシリテーションで全員参加を促す
5. 役割分担と期限を明確にする
6. 会議後に実践・評価・振り返りを行う（PDCAサイクル）

6. ケアカンファレンス成功のポイント

- 利用者中心の目標を設定する
- 情報だけでなく意味を共有する
- 多職種の専門性を尊重する
- ファシリテーションで全員参加を促す
- 役割分担と期限を明確にする
- 会議後に実践・評価・振り返りを行う（PDCAサイクル）

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

まとめ チーム化のためのケアカンファレンスの技法と実践

ケアカンファレンスは、単に情報を報告し合う場ではなく、「**利用者の望む生活**」を実現するために**多職種が目標を共有し、役割を明確にして協働するためのチームづくりの場**です。

効果的なカンファレンスでは、本人・家族の思いを中心に据え、専門職それぞれの知見を統合しながら合意形成を図ることで、継続性のある質の高い支援につながります。

本人支援と家族支援どちらを優先すべきかという発想の基には、トロッコ問題と同じように、功利主義と義務論のような議論になってしまう。

そこに、倫理的ジレンマが生じます。

私一人では、開都が出せない問題が、現場には常にある。

そこで、カンファレンスという考えが意味をなしてくる。

専門職がお互いに専門性を発揮してこそ、連携が生まれる
家族支援は、本人の支援の延長線上にある

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

スーパービジョンの視点から考える チーム化のための ケアカンファレンスの技法と実践

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止 著作権が保護されています

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

スーパービジョンの振り返り

スーパービジョンとは、援助者がよりよい支援を実践できるように支援する仕組み。

ケア・カンファレンスは、利用者支援の場であると同時に、職員の成長やチームの学びを促進するスーパービジョンの機会でもあります。

【スーパービジョンを行う意味】

直接的にはワーカー自身の成長
間接的にはワーカーの成長を通じ、クライアントへのより質の高いサービスの提供を目指す。

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

ケア・カンファレンスは「チームへのスーパービジョン」の場

ケア・カンファレンスでは、利用者の課題解決だけでなく、以下の内容が行われる。

- ✓支援の振り返り
- ✓専門職としての気づき
- ✓多職種からの学び
- ✓支援方針の確認

つまり、利用者支援を通して職員が成長する「実践教育の場」としての役割を持っています。

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろべー Junichi Nakazawa

スーパービジョンの3機能から見るケア・カンファレンス

1. 教育的機能 (Educational Function)

職員の知識や技術を高める機能

- ① スーパーバイザーは、具体的なケースを通して、理論と実践を結びつける。
- ② 実践に必要な知識・技術・価値を伝授。
これらは、専門性を構成する要素で、経験や勘ではなく共通の言語として伝える。

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろべー Junichi Nakazawa

スーパービジョンの3機能から見るケア・カンファレンス

1. 教育的機能 (Educational Function)

職員の知識や技術を高める機能

③ 具体的な学習の教育的機能

例えば、

- ✓ 認知症への対応方法
- ✓ 家族支援の方法
- ✓ 多職種連携の考え方
- ✓ アセスメントの視点

スーパービジョンの3機能から見るケア・カンファレンス

1. 教育的機能 (Educational Function)

職員の知識や技術を高める機能

④ カンファレンスでの問いとして、たとえば…

- ✓ 「なぜこの支援を選択したのか」
- ✓ 「他に考えられる方法はあるか」
- ✓ 「本人の強みは何か」

などの問いかけなど、教育的視点を込めた対話が大切になる

スーパービジョンの3機能から見るケア・カンファレンス

2. 管理的機能（Administrative Function）

組織として適切な支援を行う機能

- ✓ 支援目標は適切か
- ✓ サービスは計画通り実施されているか
- ✓ リスク管理は十分か
- ✓ 法令や制度に沿っているか
- ✓ 倫理的視点は適正か

これは支援の質を保証するために重要

スーパービジョンの3機能から見るケア・カンファレンス

2. 管理的機能（Administrative Function）

組織として適切な支援を行う機能

本来、職場の環境を管理する意味を持つ管理的機能
ワーカー自身の支援と合わせて、支援者としてのあ
るべきスタンスをケースを通じて考えていけるよう
にする。

スーパージョンの3機能から見るケア・カンファレンス

3. 支持的機能（Supportive Function）

援助者を支える機能

支持的機能は、よい支援を継続するため支援者を支援する為の役割であり、その背景と取り組むべき視点は次の通りである。

- ① バーンアウト（燃え尽き症候群）の防止
- ② 自己覚知を促し、それに伴う痛みを軽減する
- ③ ジレンマや葛藤は自己実現に向けての姿

スーパージョンの3機能から見るケア・カンファレンス

3. 支持的機能（Supportive Function）

援助者を支える機能

ストレスマネジメントの視点

社会福祉の介護や相談援助の現場では、迷い、不安、葛藤、無力感が生じる...

カンファレンスは、「一人で抱え込まなくてよい」ことを確認する場でもあります。

ケアの実践による困難な状況は、チームで共有することで心理的負担が軽減されます。

スーパーバイザーに求められる役割

カンファレンスにおけるスーパーバイザーは、答えを与える人ではなく「考えることを支援する人」であることが求められる。

- ① 指導ではなく対話による具体的な関わり
×「こうした方がいい」 ○「あなたはどのように考えていますか」
- ② 問題ではなく強みに着目
×「できていないこと」 ○「できていることは何か」
- ③ 個人責任からチーム責任へ
×「担当が悪い」 ○「チームとして何ができるか」

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

チーム形成を促進するスーパービジョン

良いチームは、正解を持つ人がいる組織ではなく、共に考えられる組織であること。

そのために必要な環境づくりとして

- ✓安心して発言できる
- ✓異なる意見を尊重できる
- ✓失敗を共有できる
- ✓相談しやすい

スーパービジョンは、こうした環境作りの土台をつくることができる。

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろペー Junichi Nakazawa

カンファレンスで活用できるスーパービジョンの問い

① 利用者理解

- ✓ 本人は何を望んでいるのか
- ✓ 本人の強みは何か
- ✓ 本人らしさとは何か

② 支援者理解

- ✓ なぜ私たちは困っているのか
- ✓ どのような感情を抱いているのか
- ✓ 支援者自身の価値観は影響していないか

③ チーム理解

- ✓ 情報共有は十分か
- ✓ 誰かが孤立していないか
- ✓ チームとして何ができるか

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろべー Junichi Nakazawa

まとめ

スーパービジョンの視点から見ると、ケア・カンファレンスは単なる会議ではありません。

それは、**クライアント支援を検討する場であると同時に、職員を育て（教育的機能）、組織（管理的機能）、支え（支持的機能）としての支援の質を高める場です。**

教育的機能、支持的機能、管理的機能の3つを意識したカンファレンスを行うことで、個人の成長とチームの成長が促進され、結果として利用者へのより良い支援につながります。

© Yazirobay Inc. All Rights Reserved.
無断使用禁止

特定非営利活動法人やじろべー Junichi Nakazawa